あなたのまちに水位計を

～低コストで洪水時の観測に特化した水位計が導入できます～

避難指示等の発令や住民の避難に役立つ水位情報を提供できます

初期費用

危機管理型水位計 100万円以下/台※

➢電池等で５年間稼働，メンテナンスフリー

※機器本体のみ。取付け用附属物や設置費用を除く

＋

ランニングコスト

・通信費（SIM）
・システム運営費
} 月々1,110円～/台

※R3年4月使用料金改定

危機管理型水位計運用協議会が運営

新たなＩｏＴ技術を活用し、安価で使いやすいシステムを開発

伊勢市の声

（平成30年度に危機管理型水位計を設置）

伊勢市では平成29年10月の台風21号による甚大な浸水被害を受け、河川水位の情報発信を強化するため、平成30年3月19日に設立された危機管理型水位計運用協議会へ参加し、危機管理型水位計を活用した取組みを進めています。

協議会参加により水位計の調達や、システムの構築等の様々な技術的な援助を受け、危機管理型水位計の設置と運用による避難体制の確立を進め、市民の安全な暮らしにつなげていきたいと考えています。

■危機管理型水位計とは

革新的河川技術（管理）プロジェクトにより開発した、洪水時の観測に特化した水位計です。
洪水時の観測に特化すること，携帯通信網を利用すること，汎用部品を活用することにより、大幅にコストダウン・サイズダウンを図ったものです。
５年間無給電（電池等で稼働）、メンテナンスフリーが標準仕様となっています。

現場実証実験第一弾（鶴見川水系　鳥山川）

現場実証実験第二弾※寒冷地仕様（最上川水系）

■危機管理型水位計運用協議会とは

水位計のデータを処理，配信，表示するシステムを共同で運用するために設立した協議会（国11機関，34道府県，41市町 / 令和5年9月27日現在）。

①共同運用により水位計の運用コストを大きく削減
②水位データを一括して見える化
③初めて水位計を設置する市町村への支援

協議会に参加すると、危機管理型水位計を低コストで効率的･効果的に運用することができます。

●市町村が水位計（1台）を運用する場合のコスト試算

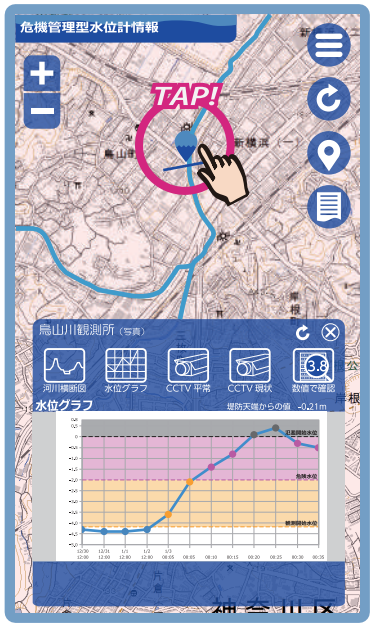
		水位計１台あたりの使用料金（円/年）	備　　考
初期設定費用		2,000	初期登録時のみ
基本料金		3,000	100 台ごとに 200 円引き
使用料金	システム使用料金（通信回線費含む）	10,320 ～	月額 860 円～ ･通信回線量 ：月 1,500KB まで ･水位データ ：月 1,000 件のデータ受信まで

年間使用料金の合計
13,320 円～ / 年

月々
1,110円～/台

※R3年4月使用料金改定

●提供画面イメージ



※ 料金には、水位計本体、水位計の設置等に関する費用は含まれません。
※ 料金設定は、今後の運営状況、追加機能等を踏まえ、随時見直されることがあります。
※ 料金は税抜きです。詳細については各契約の条件によります。
※ 通信回線は、原則水位計１台につき１回線の使用です。

R5年9月27日 更新

問合わせ先
危機管理型水位計運用協議会運営事務局
〒102-8474　東京都千代田区麹町一丁目三番地（ニッセイ半蔵門ビル）
一般財団法人河川情報センター
電話　03-3239-2641　　FAX　03-3239-0929　　e-mail　kss-kikaku@river.or.jp